

特集:防災 9月1日は防災の日

もしも今日、**大災害**が起こったら？

令和8年度 東通村防災訓練

災害



東通村では、毎年9月1日の「防災の日」に合わせ、防災訓練を行っています。

今年の訓練は、昨年5月に誕生した「入口・稲崎・東栄地区自主防災組織」の共催のもとに実施しました。訓練当日は、3地区の住民、計51人が参加し、災害時の初動対応等を確認しました。



訓練 想定

青森県東方沖を震源とする地震が発生し、東通村で震度7を観測。その後、大津波警報が発表され、家屋の倒壊や広範囲にわたる停電等の被害が発生したとの想定で、訓練を行いました。

住民避難訓練



避難者受付



津波の浸水時間までに津波一次避難場所へ避難した後、指定避難所「かしわの館」(入口地区)までの経路や、避難に要する時間等を確認しました。

訓練参加者は、避難開始の合図とともに、それぞれの自宅や職場から最寄りの高台へ避難し、その後「かしわの館」へ移動して、避難者の受付を行いました。

避難所運営訓練



東通村では、自主防災組織を立ち上げた地域への支援として、避難所レイアウトの作成業務を行っています。

参加者は、避難所レイアウトに基づき、被災地支援等を行う、一般社団法人男女共同参画地域みらいねっとの小山内 世喜子 代表理事から、アドバイスをもらいながら、簡易テントや段ボールベッドの組み立てを実践しました。組み立てた段ボールベッドに実際に横になってみると「固い。これで3日以上寝るのは大変だ」や「意外と組み立てが簡単だった」等の声が聞かれました。